

緊張感持ち続けて

佐藤渡辺

佐藤渡辺の鎌田修治社長は、青森県平川市の「東北自動車道R6青森管内舗装補修工事」（発注者＝NEXCO東日本東北支社青森管理事務所）の現場で安全パトロールを実施した。鎌田社長のほか、原田秀一技術顧問、堂尻伸二工事本部長付部長、東北支店の小川源太郎執行役員支店長、藤原裕技術顧問、杉浦和弘工事部長、前田崇志青森営業所長が参加した。

巡視した鎌田社長は「現場内は整理整頓されていた。同一作業（切削オーバーレイ工）の繰り返しになるが、毎日の作業に対する緊張感を持ち続けよう。重機（ローラー）付近での作業はオペレーターの死角に入らないように、ミ



ーティング時に指導をお願いする。絶対に事故を起こさない強い気持ちで工事関係者全員が持ち続け、竣工まで無事故・無災害で頑張ってほしい」と呼び掛けた。

小川支店長は「工事完成まで、目配り、気配り、心配りを持って現場に臨めば、無事故で終えられると信じている」と強調した。

同工事は、安代ICから青森ICまでの東北自動車道と、青森JCTで分岐した青森東ICまでの青森自動車道を含む範囲を対象とする。パトロール当日は、碓ヶ関IC付近の上り線で切削オーバーレイ工の表層工の施工を実施していた。

